

学力向上に効果のある取組事例

津久見市立津久見小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

学校教育目標の合い言葉「つくみ」や児童会スローガン「はなまる」に込めた価値を、教員と児童が共有し、日常生活や学校行事、学級活動、委員会活動、全校特別活動において具現化を図ることで、落ち着いた学習環境創りを教師と子どもで推進している。「つくみ」の「つ」と「み」は、全国で評価された理論であるQUの「ルール」と「リレーション」と関連付けることで価値付け、「く」は振り返りを重視したマネジメントの理論で価値付けている。そして、活動の場面ごとに、どの価値を大切にするのかを児童自身に考えさせ、重点目標を達成するための具体的なめあてや活動内容を、特別活動の知見を活用した集団思考で吟味・決定させている。



取組の具体②

自治活動において、児童が自分たちの学校生活の課題を見だし、めあてを設定して実践し、振り返って改善するというマネジメントサイクルを大切に、落ち着いた学習環境創りを極めて重視している。その基盤の上に、児童が「何ができるようになるのか」を意識して主体的に取り組めるよう、学習内容に応じた適切な「めあて」を設定するとともに、めあての達成状況を自分自身で確かめる「振り返り」を重視している。振り返りでは、望ましい振り返りの規準を示したループリックを開発して自分の学びを評価・改善する機会を毎時間設定している。さらに、ガイド学習も取り入れ、児童が自分たちで協力しながら学びを調整しながら進める場を意図的に設定している。

